

2018年8月20日

Ocean Network Express Pte. Ltd.

One "Cool" move: 最新式の冷蔵・冷凍コンテナの新規発注を発表

Ocean Network Express Pte. Ltd. (以下 ONE) は、8月20日に最新式の冷蔵・冷凍コンテナ14,000本(内訳は40フィートRFコンテナを13,000本、20フィートRFコンテナを1,000本)の新規発注を発表しました。新規発注したリーファーコンテナのうち2,100本は最新テクノロジーである酸素や二酸化炭素濃度まで管理するCA* (Controlled Atmosphere) タイプで、コンテナ内部の空気を調整し果物や野菜の呼吸量抑え、熟成速度を調整することによって貯蔵寿命期間を延ばす機能を備えています。新規冷蔵・冷凍コンテナは8月初めから製造されており、今後 ONE の既存フリートに順次加わる予定です。

*CA (Controlled Atmosphere) : 窒素ガス発生装置などを装備した特殊冷凍コンテナで、通常の冷却貯蔵による野菜の抑制に加えて、コンテナ内に窒素を送り込み低酸素状態にコントロールすることで青果物は「仮眠状態」となり、品質劣化が起きないまま輸送出来る仕組み。

今回の新規投入に先立ちジェレミー・ニクソン CEO は次のように語っています。「最新技術に新規投資することで、冷蔵・冷凍貨物を取り扱うお客様のご要望にいち早くお答えし、よりマーケットでの競争力を高めてまいります。世界でも有数のリーファー船社として、輸送中の貨物の品質を維持するために、既存のやり方に捉われず新しく革新的なアイデアを見つける努力を続けてまいります。」

ONE は親会社である邦船3社が保有・管理していた冷蔵・冷凍コンテナフリートを受け継ぎ、今回の新規発注と合わせて冷蔵・冷凍コンテナ分野ではそのフリート規模で世界3位となります。

ONE の冷蔵・冷凍コンテナ貨物戦略

シンガポールの事業本社ではグローバルリーファービジネス企画チーム(以下 GRBP) がマーケット需要をモニターし、各国で実際の舵を取る地域担当と密に連携することで冷

蔵・冷凍貨物輸送分野でのマーケティング並びにビジネス戦略立案を実施します。GRBPはまた、顧客に対して冷蔵・冷凍コンテナ輸送に関するコンサルティングサービスを提供することに加えて、社内・社外ステークホルダーに対して知識センターとしての役割を担います。陸上だけでなく、船上ではリーファー技術チームが必要に応じて24時間体制でサポートします。

冷蔵・冷凍コンテナのフリート強化により、お客様に一層の高品質かつ競争力のあるサービスを提供して参ります。

